



八 監 第 1 9 3 号

令 和 4 年 8 月 1 9 日

八千代市監査委員 江 頭 博 彦

八千代市監査委員 大 谷 益 世

八千代市監査委員 嵐 芳 隆

令和3年度監査（健康福祉部）の結果に基づき又は当該監査の結果
を参考として講じた措置の公表について

令和4年2月14日付け八監第472号により提出した令和3年度監査（健康福祉部）の結果に基づき又は当該監査の結果を参考として講じた措置について、地方自治法第199条第14項の規定により八千代市長から通知がありましたので、当該通知に係る事項について次のとおり公表します。

対象機関	区分	所見及び措置内容
障害者支援課	要望事項	<p>1 障害者（児）に対する市単独の扶助費について</p> <p>【所見】</p> <p>障害福祉サービスや障害児支援に係る給付額の増加等により、障害者（児）に対する扶助費の一般財源支出額が年々増加しており、今後も同様の傾向が見込まれている。</p> <p>このような現状を踏まえ、持続可能な障害者（児）施策を推進するため、障害者（児）に対する国や県の制度に基づかない市単独の扶助費については、他団体と比較検証を行うなど、制度の内容を検討されたい。</p> <p style="text-align: center;">（令和元年度及び2年度監査 要望事項）</p> <p>上記の令和元年度及び2年度監査における要望事項を踏まえ、引き続き制度の内容を検討されたい。</p> <p>【措置内容】</p> <p>本市の扶助費は年々増加しており、令和4年度予算では前年度の5.4%増加の約183億5千万円となっており、予算構成比でも一番多い28.1%を占めています。</p> <p>当課の扶助費につきましても障害福祉サービス費等の増加により予算は年々増加しており、令和4年度予算では前年度の約18%増加の約48億8千5百万円となっておりますが、国等の関連予算の動向からは今後も増加が見込まれます。</p> <p>このような中、本市における「中長期財政収支見通し」のとおり、今後、歳出超過が見込まれる状況で、障害児者の支援等に必要な施策を継続的かつ確実に実施していくためには、「令和4年度予算編成の基本的方針」でも「市単独で実施している扶助費等について、必要性等を厳格に検証し、事業内容の見直し、整理統合、廃止の検討」が求められており、限られた財源をより効果的・効率的に活用し、事業費の抑制に努める必要があります。</p> <p>このようなことから、当課の市単独事業扶助費の見直しについて、八千代市第5次障害者計画の基本目標等との整合を図りながら、施策の新規・拡充と一体的に検証・検討いたしました。国等制度の動向や近隣市の状況等も引き続き検証を要する状況でありますことから、現時点で具体的な見直し事業の選定は行わず現行制度を継続し、今後も検討していくことといたします。</p>